

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者の高齢化、重度化により、地域へ出向く機会が減り、交流が少なくなっている。地域と繋がりながら暮らし続けられるようにするには？	地域の方との交流を増やす。	①出向く機会が少ないので、地域の方に来て頂く。保育園や婦人会等に訪問を依頼する。 ②案山子見物や花見ドライブは毎年恒例となっているので、今後も継続する。	12 ヶ月
2	5	○身体拘束をしないケアの実践 身体拘束に関しては身体拘束委員会や勉強会で学習し、身体拘束に頼らないケアに取り組んでいる。ホームが2階で、玄関を出てすぐ階段がある事から、安全確保の為に、出入り口は施錠をしている。	今後も身体拘束ゼロを目指し取り組んでいく。	①施錠しているから安心だと思わないようにする。利用者は出たいと思っているのではないかと常に思い、利用者の行動を観察し、気持ちをくみ取る。 ②職員は今後も身体拘束委員会や勉強会に参加する。	12 ヶ月
3		○本人を共に支えあう家族との関係 家族アンケート別集計表を見て、言葉使いや施設での生活に満足されていない事を知り反省する。	利用者、家族が相談や話しやすい雰囲気作りや信頼関係を築く	①今回全スタッフが家族アンケートを見て、個々の感想、気付き、今後の対応を書き、施設代表を交えて話し合いを行った。 ②笑顔で接し言葉使いに注意する。職員同士で注意しあう。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。